

山鹿市 藤川 悠子

立秋を迎え朝夕は涼しさを感じるようになった八月二十六日、申込した時より待ちに待った清道衆講習会がいよいよ始まりました。

第一講として、瀬川上人のお話で「日蓮大聖人伝」についてお聞きし、日蓮大聖人が法華経の文々句々の一語たりとも現実にはたがわざること色説によって確信、法悦の中に上行菩薩としての自覚を深められるとのこと、分かりやすくお話し下さいました。

第二講の戸田上人の講話は、日蓮宗の御本尊は大曼茶羅であります。大曼茶羅があるということは解っていたのですが、これがこんなに重要な意味があることは知りませんでした。



笑顔も見られた講義

第三講は第一講と同じく瀬川上人が、俱生霊神符と九識靈断法についてお話しなさいました。肉体は両親から頂き、生命は御本仏様より頂くものであるということとは、御本仏様の子として生まれたものであるということ。お題目の「道」「行い」(他人の幸福を祈ること)、「護り」(お寺をお守りする)、「弘める」(目的を

絞ってひろめる)、この四誓の願業に生きる人こそ真の聖徒なのです。

第四講は第二講と同じく戸田上人の講話で、積善の功德(回向供養について)のお話があり、供養とは佛法僧、佛||佛様、法||法華経、僧||弘める。の三宝や身口意の三業を通して供物をささげること(云々)こと、聖徒の使命としては、◎心行として、①腹を立てず忍耐すること。②慈愛を持つて他人、万物に接すること。◎身行として、①人のため布施奉仕すること。②他のため身をもって奉仕すること。「自らの使命であることを自覚し、実践してゆかねばならないこと」など、今からの私の使命とも思える講話を頂きました。

合掌

和 食 亭

栄太郎

TEL0968-43-8080

山鹿市山鹿郵便局となり



マルカメ醤油・味噌

灯笼シヨシヨ

山鹿市中1000-2

☎44-3131

日蓮大聖人は十二歳の時、安房国清澄山に登り勉学の手ほどきを受け、世の中の乱れを心配された十六歳の時に各地の名僧、お寺を尋ね遊学に出られ、南無妙法蓮華經の七文字こそが絶対の正法であるとお唱えになり、全世界に向けて立教開宗の覚悟をされ、この時日蓮と名乗られたそうです。



講義を受ける聖徒 ④

山鹿市 藤本 賢子

私は、南無妙法蓮華經というこのお題目をありがたく頂きながら、人類の幸福と平和を願って暮らしていきたいと思えます。

南無妙法蓮華經

熊本市 和田 純夫

去る八月二十六日(水)、第二回圓頓寺清道衆講習会が、十五年ぶりに四十八名の参加者を得て開催され、午前九時から午後四時まで四講に分けての講義がありました。

戸田、瀬川両上人による「日蓮大聖人伝」、「法華經とお題目の素晴らしさ」、「大曼荼羅御本尊」、「俱生靈神符と九識靈断法」などについて、充実した内容で熱く熱く語られ強く心に響きました。

檀信徒歴二年半の私には、

なかなか話される言葉の理解はできませんが、私が救われ安心して寿命を全うするには、法華經の教えを生活の基盤とし、法華經の肝心たる「お題目」を唱えることこそ唯一の道だと信じるようになりました。

眼先の損得に心をうばわれている自分、「自覚欠如」状態の中で反省ばかりの毎日ではありますが、「俱生



代表で称号証を受ける山下会長

建設業
砂利採取販売業
コンクリート二次製品製造販売

有限会社 阿蘇品組

代表取締役 阿蘇品 豊

山鹿市中483
電話(0968)44-7815

電気設備工事設計施工

有限会社 中原電機商会

代表取締役 中原徳男

熊本県山鹿市栄町298
電話(0968)43-2087

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
護持会会員、檀信徒の皆様には六次行事や年間の各



聖徒団九州結集大会の瀬口会長（左）

婦人会会長 瀬口ミス子

婦人会年頭のご挨拶

「霊神符」を常に着帯し、「お題目」の力を信じ、菩提寺である圓頓寺の隆盛を祈念しつつ、皆様のご指導

行事にご奉仕、ご協力いただき御礼申し上げます。
昨年の行事の中に、十五年ぶりの清道衆講習会が八月二十六日に行われ【注：八ページから清道衆講習会の感想文の抜粋を特集しています】、また、十一月十九・二十に日蓮宗聖徒団九州結集大会が、玉名市・シロイヤルホテルと本妙寺で開催され、霊断師会副会長他多数のお寺様の聖徒団が参加しての結集大会でございました。その中に聖徒体験談等の報告もあり、大変心に染みる大会でした。

をいただき「異体同心」の信仰実践に励みたい。と思いを新たにいたしました。
合掌

圓頓寺では、毎月二十八日に信行会がございまして、副住職英人上人を講師に妙法蓮華経に対する勉強会が行われています。私も出席し、また俱生霊神符を身につけ身体の安全をお祈りいたしています。檀信徒の皆様、婦人会会員の皆様も勉強会に出席できれば幸があると存じます。
遅くなりましたがご住職、



お食事処を奉納する婦人会代表

くつ・はきもの専門店

 **銀鳥**

やまが中町商店街
☎(0968)43-2282

お食事処

花見坂
HANAMEZAKA

山鹿市花見坂330~13 ☎44-6435

圓頓寺檀信徒の皆様、謹んで新春のお慶びを申し上げます。本年も良き年でありますようお願いいたします。



お会式供膳の儀・木下会長（中）

信行会会長 木下美枝子

信行会年頭の挨拶

副住職、坊守様、檀信徒の皆様、婦人会会員の皆様、今まで同様本年もご指導、ご協力、ご支援いただきま

すようお願い申し上げます。年の御挨拶いたします。

南無妙法蓮華經

す。

昨年後半の行事

◎六月三十日、七月二日、清澄で開催された中央檀信徒研修道場に初めて参加させていただきました。圓頓寺から参加の六名を含め全国から集まった四十五名の信徒と共に、厳しいながらも意義のある生活をさせていただきました。

◎七月二十三日、本妙寺頓写会。

◎八月二十六日、圓頓寺で清道衆講習会があり素晴らしい講義を受けました。

◎十月七日、熊本県護法大



聖徒団九州結集大会リラックスタイム

会が県立劇場でありました。
◎十一月五日、九州教区檀信徒研修道場が北九州市で開催されました。
◎十一月十九日、二十日、聖徒団九州結集大会が玉名市（十九日）、本妙寺（二十日）でありました。
◎十一月二十四日、城北地区輪番信行会が玉名市妙法寺でありました。
外に出て行く行事が数多

JA 鹿本株鹿本広域福祉センター総合葬祭会館
やすらぎの里

天 寿 苑

〒861-0535 熊本県山鹿市南島1246(山鹿大橋そば)

TEL. 0968-44-0983

葬儀場・法事会館を併設した総合葬祭会館です

梅雨明け宣言もないまま、今年は土用丑の日がやってきました。七月十九日、当山恒例のお盆のお施餓鬼法要と除災ほうろく灸祈禱祭



法要で受付担当の大瀬さん

編集委員 大瀬 和江

お盆会追善とお施餓鬼法要

くありましたが、多くの導きの場を与えて下さり、ありがたく思っております。今年も檀信徒の皆様、信行会会員の皆様と一緒に、

出来るかぎり参加させていただきます。共に学びたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

合掌



浜崎上人の法話

が催され、ほうろく灸は九時三十分と十二時過ぎと二回に分けて行われました。玉名市妙法寺副住職の浜崎義英上人の法話は、土用丑の日のお話と、帝釈天

(仏法を守るという神)の小さいものにもあわれみを持たれた話や、阿修羅(仏法の守護神)のお話でした。『施餓鬼』という言葉の意味を辞書で調べてみました。『飢餓に苦しんで災いをなす鬼衆や無縁の亡者の霊に飲食を施す法会。今日では盂蘭盆会と混同』と書いてありました。

日蓮宗のお盆施餓鬼法要とは、お釈迦様のお弟子の目蓮尊者のお母さんを救うための供養を行った孝養事より始まったそうです。

ご先祖供養法要は、英知上人をご導師に、英人上人、秋吉上人、高野上人、福山上人、沢村上人、浜崎上人の七名のご出仕で、高らかに法鼓を打ち鳴らし、無事厳修することができました。

合掌

ニッセイ同和損害保険株式会社

熊本支店

〒860-0804 熊本市辛島町5-1 日本生命熊本ビル

☎ (096) 353-3491 FAX (096) 355-7380

第三十六回 県護法大会

妙教寺修徒 松尾 英勝



お会式で太鼓をたたく松尾さん

毎年行われております護法大会、私は今回で天草大会、八代大会に続いて、三回目のご縁をいただき、圓頓寺様の役員様、檀信徒の皆様と一緒に十月七日、熊本県立劇場での大会に参加させていただきました。

本年は宗祖日蓮大聖人が鎌倉幕府に「立正安国論」を奏進されて七五〇年の記念の年として、本大会で「法華懺法」（古くは鎌倉時代以前より行われてきた法要）が行われると案内されていきましたので、楽しみにしてまいりました。また、「高座説教」（落語のルーツと言われています）、日蓮宗に伝わる独自の説教で、終盤には大聖人の御生涯の名場面が語られるということで、これもまた楽しみにしてまいりました。

「法華懺法」は、本来は僧侶自身の懺悔の儀式としておこなわれてきましたが、近年はこの法要を行うところも少なく、全国の声明師

会が再現に取り組んでおられ、今回熊本県の声明師会、青年会の皆様が膨大な時間と、努力をついにやし開催されることになりました。今回、再現された「法華懺法」を聞き、見て思ったことは、敵か派手でもなく、一心に祈る気が集中した法要に感じました。



声明師会・青年会による法華懺法

「高座説教」は、静岡県富士市法蔵寺、平野護山僧

盛文社印刷

山鹿市下町1807
TEL 0968-43-2604
FAX 0968-43-6075

生活環境に、やさしい企業

水廻りの事ならすべてOK!

TORAYA  SHOKAI

合資会社 とらや商会

TEL(0968)43-2212 FAX(0968)44-5990

〒861-0532 熊本県山鹿市鹿校通一丁目3番29号

正を招いて行われました。法華経の修行の中に、受持、誦誦、解説、書写があり、誦誦は法華経を読み唱え、解説は法華経を説いて伝え、書写は法華経を書き写し残す。といった修行のまとめとして受持、法華経は素晴らしいですね、法華経をこれからも常に信じて行きますよ。とお話があり、日蓮大聖人が佐渡へ流罪となり、弟子の日朗上人は土牢に入られ、常に大聖人のことを案じられて、お経を唱える日々を続けておられました。お経を唱えると、牢番が棒で日朗上人の体を突くといった日々も続きました。いつしか日朗上人を見張っていた牢番が、日朗上人の姿に心うたれ、今までは冷えた食事を持ってきていたのが、食事を温かくして持っ

てくるようになりました。また、日朗上人を佐渡の大聖人のもとへ送るようになりました。このお話のように法華経を信じて行つてゆけば、必ず救いがあるとおはなしてました。

私たちは日蓮大聖人の弟子です。今、時代は大聖人がおられた鎌倉時代同様の乱れた世の中になっていきます。今年が「立正安国論」を鎌倉幕府に奏進されて七五〇年の年に当たり、私も、この世が平和な世の中にな

日蓮大聖人お会式と先祖供養

山鹿市中 藤川 悠子

身延のお山では御会式桜がちらほらと秋風の中にゆれている頃でしょうか。当山に於いては十月十三

るように、努めてゆくよう頑張ります。

南無妙法蓮華経



護法大会参加の皆さん

日、大聖人御会式と先祖供養がなごやかなうちに厳肅に奉修されました。始めに、植木町妙正寺副住職竹迫裕恭上人の法話を頂きました。

拝む心で尊い品を

梅谷仏具店

本店 〒812-0027 福岡市博多区下川端町10-9

TEL 092-271-0456

年中無休 駐車場完備

支店 〒819-0373 福岡市西区周船寺3-9-4

TEL 092-806-7499



父母になるのは簡単であるけれども、父母であることはむずかしい。親は子育てで成長するし、又子供からも育てられている。自分の子供だけはという偏見のなとらえかたをせず、感謝の心、おかげ様でという仏心をいつも持ちたいものである。自分も仏様に仕える身であるのに、仏心を見失つ



お会式で合掌する藤川さん

ていた時がありました。私たちに未来があります。過去の色々なことがあったとしても、現実から逃避するより今から人生を反省し、毎日毎日続けとおすお題目の力を心の糧とし、明日から生かすこと。そして仏心に少しでも近づけるように努力することが必要です。と御自分のお寺の檀信徒の



竹道上人の法話

母の看病を心より喜んでやっているのかと、改めて自身に問いかける時間でもありました。最後に、英知上人の『純粋で素直な心でお題目を唱えましょう』というお言葉

方々との結びつきを力強くお話になりました。聞き入っている皆様もお互いにならずき、仏心に心を動かされた様子でした。次に、御会式と総供養が英知上人御導師のもと、六名のお上人で厳修されました。お上人様方が唱和されま

す。今日も、おときと掃除当番の方、婦人会有志の方々の御奉仕でおいしいおときを頂きました。本当にありがとうございます。私は大急ぎで私のおときを母に持ち帰りました。食べ易いようにきつたおときを、お経を唱えつつおいしそうに食べている母の姿を見て感動するとともに、母がいかに強い仏心を持っていたかを垣間見たような気がいたしました。

すごく嬉しかったことは、薫様のお子様を抱かせて頂いたことです。すっかりお母様になられた薫様もおきれいですが、未来のお上人になられますお子様もかわゆく、気品に満ちていらつしゃいました。まだその時の幸せの感触が胸に残っています。

平成十七年度～平成三十四年度
りっしょうあんこく

立正安国・
だいもくけちえん
お題目結縁運動

日蓮宗

お寺の行事

一月十三日(水)

日蓮大聖人報恩

午前十時

初講法要

宗祖日蓮大聖人の正月の初御命日に講をおこして、御入滅をしのび、報恩のお祈りをささげる聖日です。

開運
節分析祈会

二月三日(水) 午前十時

除災招福・星祭祈禱

一月二十日

日蓮大聖人報恩

九日間・夜七時

大寒・寒修行

毎夜七時から山鹿市内を巡回します。お上人と共に修行しましょう。出来ない方はご供養しましょう。

宗祖降誕会

二月十六日(火) 午前十時

御誕生をお祝する日

三月二十八日(日) 午前十時

鬼子母神祭
彼岸会法要

百日間の大荒行を成満した、荒行僧の秘法除災除厄祈禱が行われます。

五月三日(祝日) 午前十時

立教開宗会

大黒天まつり

六月二十三日 午前十時

清正公・頓写会

御入滅を偲ぶ日

清正公四百遠忌を前に、
皆様方のお力添えを
よろしく願います。

清正公四百遠忌御報恩記念
仁王門・浄池廟および周辺・
諸堂改修事業
寄付のお願い

一口
10,000円

お申込は事務局迄

肥後本妙寺
清正公四百遠忌奉賛会事務局
〒860-0072 熊本市花園4-13-20 本妙寺内
TEL 096-354-1411

発行所
山鹿城址
湯の町でら

常明山 圓頓寺

熊本県山鹿市山鹿温泉五

☎ 四三一二四二四代

☎ 四四一五一〇〇

FAX・四三二七二八

電子メール: info@orange.orc.np.jp

ホームページ: www.entoni.jp

非売品

編集・圓頓寺たより編集委員会

印刷所

山鹿市下町一八〇七

有限会社

盛文社印刷

☎ 四三一二六〇四

FAX・四三一六〇七五

メール: info-setsumiya@hyper.orc.np.jp